

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立鹿折小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒988-0817
宮城県気仙沼市西八幡54-1

E-mail sisisho@oregano.ocn.ne.jp

Website _____

児童生徒数 男子 98名 女子 104名 合計 202名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域学習＜世界遺産、伝統文化を含む＞）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①防災学習

○ 業前活動「防災タイム」の活動

本校では、業前活動に位置付けて、毎月の11日を基本に「防災タイム」を実施している。宮城県防災副読本の「未来への絆」や気仙沼市教育委員会の「防災学習シート」を活用し、学年に応じて防災にかかわる基本的な知識について学習している。



(5年グループ学習)

○ 教科，総合的な学習の時間，学級活動等の活動

教科学習や学級活動等において、防災学習と関連する単元や題材を選定し、副次的なねらいをもって学習活動を展開した。また、総合的な学習の時間においては、学年ごとにテーマを設定して取り組んだ。

1年生：「がっこうのいきかえり」(学級活動)

登下校中に地震が起きたら、どのようにしたらよいかを考えさせた。

2年生：「どきどきわくわくまちたんけん」(生活科)

校外学習中に地震が起きたら、どのようにしたらよいかを考えさせた。

3年生：「地域の災害を調べよう」(総合的な学習の時間)

地域の災害として、特に洪水と土砂災害がどのように起こるかについて学習した。ゲストティーチャーとして、洪水については鹿折地区老人クラブ会長の西村氏、土砂災害については気仙沼市役所危機管理課の村上氏を招いて講話をしていただいた。児童は、積極的に質問をして疑問を解決したり、書籍を使って調べたりして課題を解決し、まとめを全校の前で発表した。



(村上氏の講話)

4年生：「地域の防災マップを作ろう」(総合的な学習の時間)

4年生は、鹿折地区の防災マップづくりに取り組んでいるが、災害復興工事が進んでいる錦町やみなと町周辺のマップづくりに取り組んだ。9月に鹿折南災害復興住宅が完成し、同地区周辺の道路に立ち入りができるようになったので、地図づくりのためのフィールドワークを行い、危険箇所や土地の高低、避難経路などを調べて防災マップを完成させた。

5年生：「地域の津波被害を考えよう」(総合的な学習の時間)

5年生では、津波警報が発表された時に避難しなかった人がいることの記載がある新聞記事に着目し、完成した災害復興公営住宅の屋上から地域を眺め、気仙沼市役所危機管理課の村上氏から説明を受けながら、課題解決のための考察を行い、前年に作成した防災マップを改善する活動を行った。



(公営住宅屋上での活動)

6年生：「災害時にできること」（総合的な学習の時間）

6年生は、学校にある災害用の備蓄倉庫などを踏査する活動を通して、実際に災害が起こった時に自分たちができることは何かを考えてまとめた。まとめの中では、災害用備蓄倉庫が体育館にあるが、校舎の3階に移すべきという提案等を全校の前で発表した。



(全校の前で発表する6年生)

②地域学習＜世界遺産、伝統文化を含む＞

○ 総合的な学習の時間の活動

総合的な学習の時間では、防災学習の他、地域を見つめることを学年共通の視点とし、体験活動を通して探究する学習に取り組んだ。

3年生：「鹿折の宝物（人・もの・こと）を探そう」

自慢したい鹿折地域の宝物（人・もの・こと）を探して調べる活動を行った。最初に、鹿折地区とはどんな地区かについて、学校のまわりを歩いて調べた。地域のシンボルでもある安波山にも登って鹿折地域全体も見学した。児童は、鹿折地域は鹿折川の流域に街が広がっていることに気付くことができた。

また、総合的な学習の時間と関連させた学芸会では、白山地区に伝わる「白山小唄」を取り上げた。「白山小唄」の伝承者である藤村美代子氏をゲストティーチャーに招いて、踊り方を直接指導していただき、直接体験は児童が地域に対する理解を深める一つの手立てとなった。



(踊りを習う3年生)

更に、鹿折公民館の豊田館長先生をゲストティーチャーに招いて、児童が疑問に思った白山地区の「源氏の滝」や「綱木地蔵」についての講話をしていただいた。



(講話をする豊田館長先生)

最後に、活動をまとめて保護者や2年生を対象に「鹿折地域の宝物発表会」を行った。

4年生：「鹿折の伝統と文化を調べよう」

4年生は、鹿折地域に伝わる伝統芸能や文化を調べる活動を行った。児童は、鹿折地域に「浪板虎舞」「中才太鼓」、「白山太鼓」、「小々汐太鼓」、「八幡太鼓」などの伝統芸能が伝承されていることに気付くことができ、保護者を対象にした発表会では、「自分は太鼓の活動に参加しているので、自分たちも、これからこの伝統芸能を受け継いで、未来につなぐために頑張りたい。」と決意を表す児童もいた。

更に、発表会では、「お盆」や「若水汲み」など日常生活の中で当たり前に行われている年中行事も、詳しく調べると細かなしきりがあったり、深い意味があったりすることに気付き、調べることは新しい発見につながることを発表したグループもあった。



(保護者の前で発表する児童)

5年生：「鹿折の海の恵みと仕事を調べよう」

5年生は、鹿折の海に着目し、鹿折の海の恵みとしてどのような水産物が採れるか、またそれに関わる仕事は何かについて調べる学習を行った。

海の恵みと仕事について調べるために、「気仙沼鹿折加工協同組合」を見学した。見学では、海水を滅菌して水産業施設や工場に販売していることを知り、海水が売り物になることに驚いた児童もいた。

また、水産加工工場も見学し、大型の冷蔵庫に入ってマイナス40度の寒さを体験し、気仙沼名産の「ふかひれ」や魚の缶詰が生産される様子を見学したりした。工場の方に、「なぜ鹿折地域には、水産加工工場が集まっているのですか。」と、児童が質問すると「気仙沼魚市場がそばにあるからね。」と教えられた。そのことを手が



(水産加工工場見学)

かりに気仙沼魚市場の見学へと発展させたところ、マグロの競りが行われている場面を見学することができ、質問などを通して、気仙沼魚市場の水揚げ高に対して売上高の割合の大きいことに気付き、気仙沼魚市場では値段の高い魚を取り扱っているのではないかという仮説を立てることができた。

まとめの段階では、4年生を対象にスライドを活用しての発表会を開き、活動の成果を伝えた。4年生は、質問や感想を発表し、自分たちの活動に意欲と期待をもつことができた。

6年生：「世界文化遺産平泉とつながりのある鹿折金山を調べよう」

6年生は、世界文化遺産に認定された平泉とつながりがあると言われている鹿折金山の歴史について調べ、課題解決に向けて鹿折金山遺跡や鹿折金山資料館を見学し、ゲストティーチャーの鹿折公民館長の豊田先生と鹿折金山資料館長の中村氏の講話を聞き、当時の金の採掘の様子を見聞した。



(鹿折金山資料館での見聞)

児童は、鹿折金山から世界で一番大きな金塊（モンスターゴールド）が発見されたことに驚きながら、当時の金発掘に使用されていた道具を丹念に調べることができた。

まとめの段階では、グループごとに発表する鹿折金山発表会を行った。児童は、スライドを活用したり、ペープサートや紙芝居の手法を用いたりして、分かりやすい発表にするための工夫を凝らすことで、伝えることの大切さに気付くことができた。



(工夫を凝らした発表)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）